

# 平成28年度 事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

## 1 事業の成果

平成28年度に力を入れて取り組みたい事業は次の通りでした。

- ① 「バードライフアドバイザー認定講座（以後BLA）」2級の開始
- ② 里親会に力を注ぐ
- ③ 愛鳥祭の初開催

①BLAは全国主要都市を回り、愛鳥家様に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えできたと思います。

3級を継続するとともに、各分野のプロフェッショナルな講師をお招きして「鳥と私と貴方が幸せになる」をテーマにしたBLA 2級を全国各地で始動しました。

各専門家の方を講師にお招きし、また全国の獣医師様に講師を務めていただくなど新しい取り組みを積極的に取り入れました。

②里親を探していることが一目でわかるような、POPをケージに取り付けました。

また、初めてとなる小さな鳥だけに焦点を当てた里親会開催も行いました。

関東圏にお住まいではない方にも、里親になっていただけるようバーチャル里親会（MTB）の計画も開始しました（実現には至っていません）。

③「常識より良識」をコンセプトとして掲げたTSUBASAで行う最大規模のイベントの第一回を開催しました。セミナー、鳥雑貨の販売、バードラン、バーチャルMTBという全部で4つの企画を行いました。このイベントを一巡すると自然に「良識」が身に付く、そんなイベントを目指して楽しく学べるイベントとなりました。

④上記以外に多岐にわたる活動を行い、鳥たちに里親の多く決まった年ではありましたが同時に認知度向上も関係しているのか、手放され当団体が引き受けた鳥の件数(羽数ではなく依頼数)も過去最高となってしまいました。

⑤また、愛知県の芸術イベント「トリエンナーレ」の鳥達のレスキュー、及び、あいちトリエンナーレ実行委員会主催の里親会等への支援については、2度に渡る里親会のサポートと再発防止のため要望書を作成し提出しました。

## 2 事業の実施に関する事項（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
--------	------	------	------	--------	--------------	---------

(1) 鳥類適正飼養に関する教育啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鳥塾</li> <li>・愛鳥祭</li> <li>・同鳥会</li> <li>・バスツアー</li> <li>・セミナー・フォーラム・シンポジウム</li> <li>・パートナーアドバイザー認定講座3級、2級</li> <li>・リーフレット設置、季刊誌の作成等</li> <li>・バードラン</li> </ul>	通年	埼玉県新座市及び全国	4名	全国の愛鳥家・動物保護に関心を持つ方	2000名	4,886
	NPOステップアップセミナー	11/9	埼玉県川越	2名	埼玉県の法人	50名	
(2) 鳥類の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親会（MTB）開催</li> <li>・レスキュー引き取り事業</li> <li>・ボランティア体験ツアー</li> </ul>	1月から12月まで定期開催(別紙参照)	埼玉県新座市	5名	全国の愛鳥家	310名	16,583
(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業	飼鳥のペレット読本 鳥種別リーフレット	通年	埼玉県新座市	4名	獣医師他	550名	240
(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査	健康管理に係る食餌、気温の調査	毎日	埼玉県新座市	3名	全国の愛鳥家	—	6
(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れ</li> <li>・特別授業</li> <li>・学生インタビュー</li> </ul>	随時	埼玉県新座市	4名	学生一般	500名	—
(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業	H28年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—
(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務	鳥の餌、おもちゃなどの販売	随時	埼玉県新座市	4名	施設来訪者	200名	1,758
(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営	H28年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—

(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍</li> <li>・カレンダー</li> <li>・コースリボンなど</li> </ul>	随時	埼玉県新座市	4名	施設来訪者	200名	122
-------------------------	--	----	--------	----	-------	------	-----

(2) その他の事業 なし

### 3 各事業の活動内容等

(1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

1：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

東京：11/13, 12/14

千葉：4/4, 北海道：7/24 大阪：1/9, 10/16

愛媛：3/21, 10/23 高知：9/4 宮城：7/9

合計 10回

担当 松本 (NPO法人TSUBASA代表理事)

内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に

3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。

受講者 424名

2：バードライフアドバイザー2級認定講座

開催地、開催日(講座受講は1度の受講で2日連続講義)

東京：4/24, 5/29 愛知：7/31 大阪：7/17

宮城：9/16

合計 5回開催(10日間)

担当 松本 (NPO法人TSUBASA代表理事)、木村 (理事)、塩谷 (理事)

講師 眞田先生 (小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL)、石綿様 (ALETTA代表)

内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に

2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。

受講者 152名

3：鳥類臨床研究大会出展

日時 2016年2月11日/10月9日

担当 武井 (NPO法人TSUBASA職員) 望月、井伊、涌井 (NPO法人TSUBASA理事)

内容 獣医師のための勉強会にて出展を行い、TSUBASA出版における

書籍などの販売や活動を知ってもらうための発信を行った。

参加人数 約100名

4：愛鳥さんのお料理ワークショップ

日 時 2016年1月10日 13：15-15：30  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 後藤様（Sunny Kitchen主催）  
内 容 「鳥さんに食べる楽しみを！」をテーマに鳥のための手作りご飯を作る  
Sunny Kitchen様を講師に迎え鳥のための手作りふりかけとクッキーを  
作りました。  
参加人数 11名

5：For Better Communication with Your Bird3（コミュニケーションセミナー1）

日 時 2016年1月24日 13：15-16：15  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 新居様、石綿様（D・I・N・G・O）  
内 容 鳥たちに伝えたいことをわかりやすく伝えるためには、  
どうしたらいいのかについてお話ししました。  
参加人数 18名

6：第60回愛鳥塾「柳瀬川バードウォッチング～TSUBASA近くの野鳥たち～」

日 時 2016年1月30日 13：20-15：20  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 木村（NPO法人TSUBASA理事）  
内 容 バードウォッチング未経験者～初心者が対象の体験型愛鳥塾として  
開催しました。  
参加人数 8名

7：愛鳥さんのお料理ワークショップ

日 時 2016年2月7日 13：15-15：30  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 後藤様（Sunny Kitchen主催）  
内 容 「鳥さんに食べる楽しみを！」をテーマに鳥のための手作りご飯を作る  
Sunny Kitchen様を講師に迎え鳥のための手作りふりかけと  
クッキーを作りました。  
参加人数 10名

8：プラケ・ケージ相談会

日 時 2016年3月6日 13：00-15：00  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 武田様（TSUBASAボランティア）  
内 容 プラケなどにオリジナル止まり木を取り付ける個別相談会を  
開催しました。  
参加人数 5名

9 : 第10回TSUBASAセミナー

日 時 2016年4月10日 13:00-17:15  
担 当 涌井 (NPO法人TSUBASA理事)  
講 師 石綿様 (ALETТА代表) 「ごほうびマジック」  
西山様 (獣医師) 「動物虐待と法律」  
小嶋様 (鳥と小動物の病院リトルバード院長) 「鳥類臨牀入門」  
内 容 飼い鳥の飼養についてより深い知識を得たいと思っている方に向けた  
セミナーを開催しました。  
参加人数 124名

10 : 第61回愛鳥塾「大型鳥との暮らしで知っておきたいこと」

日 時 2016年4月29日 13:15-14:15  
担 当 望月 (NPO法人TSUBASA理事)  
講 師 同上  
内 容 大型鳥を飼育するにあたっての勉強会を開催しました。  
参加人数 22名

11 : 第一回愛鳥祭

日 時 2016年6月19日 11:00-17:00  
担 当 NPO法人TSUBASA理事、職員一同  
場 所 東京農業大学  
講 師 後藤様 (Sunny Kitchen主催) 「鳥さんに食べる楽しみを!」  
松井様 (Sicklebill Safari所属) 「ケアンズの鳥たち」  
西山様 (獣医師) 「保護活動のおはなし」  
石綿様 (ALETТА代表) 「褒めるしつけの、それって本当?」  
内 容 出張バードラン、セミナースペース、クリエイター雑貨即売会  
(バーチャル) 里親会など多数のイベントを同時に開催しました。  
イベントの目的は、イベント会場を一周すれば良識が身につくような  
そんな楽しく学びになるイベントを目指しました。  
参加人数 推定800名

12 : シェルターバードのためにできること

日 時 2016年8月6日 (土) 13:15-16:15  
担 当 涌井 (NPO法人TSUBASA理事)  
講 師 石綿様 (ALETТА代表)  
内 容 シェルターの鳥のためにできることを行動学の観点から考えるための  
セミナーを行いました。  
参加人数 13名

13 : 第62回愛鳥塾「鳥と登録」13:15-14:15

日 時 2016年8月14日  
担 当 涌井 (NPO法人TSUBASA理事)  
講 師 同上  
内 容 ワシントン条約ならびに主の保存法についてお話ししました  
参加人数 13名

14：第63回愛鳥塾「おもちゃ作り教室」

日 時 2016年8月21日 13:15-15:00  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）、井伊（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 TSUBASAボランティア  
内 容 夏休みに親子で作る鳥のおもちゃ作り教室。安全についてや鳥におもちゃを入れる意義などについてお伝えしました。  
参加人数 22名

15：新座市観光協会「ぶらり新座バスの旅」

日 時 2016年9月3日 14:00-14:30  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
内 容 新座市民を対象とした県主催のバスツアーとして活動の説明をしました。  
参加人数 20名

16：第64回愛鳥塾「大型鳥との暮らしで知っておきたいこと」

日 時 2016年9月11日 13:15-14:15  
担 当 望月（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 同上  
内 容 糞便からわかる健康状態や、鳥の食餌や発情についてなど、鳥を飼育するにあたっての基礎的な勉強会を行いました。  
参加人数 11名

17：同鳥会 オカメインコ会

日 時 2016年9月17日 13:15-16:00  
担 当 望月（NPO法人TSUBASA理事）  
内 容 鳥達の社会を広げ、飼い主様同士の情報交換の場であるバードランに特定の鳥だけが入れる日を設定しています。今回は、オカメインコのみ参加可能の会を行いました。  
参加人数 19名

18：バードランドキドキデビュー会（with社会化プチセミナー）

日 時 2016年10月22日 13:15-17:00  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 石綿様（ALETTA代表）  
内 容 バードランに愛鳥さんを連れてきてみたい方（初参加限定）のためのイベントとして開催しました。  
参加人数 13名

19：ジャパンバードフェスティバル(JBF)

日 時 2016年11月5.6日  
担 当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）  
内 容 日本最大級の鳥の祭典JBFにて活動PRと物販を行いました。  
参加人数 100名

20：ヤマザキ学園絆祭

日 時 2016年11月6日  
担 当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）

内 容 動物業界の未来を担う動物看護師さんを鳥好きにしたいと、  
いうコンセプトの元、トークセッション、出張バードラン等を行いました。  
参加人数 100名

21：NPOステップアップセミナー  
日 時 2016年11月9日 13：00-16：00  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）、井伊（NPO法人TSUBASA理事）  
内 容 埼玉県が主催する認定NPO法人を講師に招いての意見交換会にて  
説明をさせていただきました。  
参加人数 50名

22：さまざまな噛み付きの理由と対処（セミナー）  
日 時 2016年11月13日 13：15-16：15  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 石綿様（ALETTA代表）  
内 容 鳥はかむものと思って諦めている方も多い中で、  
さまざまな噛みの理由についてお話をしました。  
参加人数 20名

23：第65回愛鳥塾「柳瀬川バードウォッチング」  
日 時 2016年11月26日 13：20-15：30  
担 当 木村（NPO法人TSUBASA理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 木村（NPO法人TSUBASA理事）  
東京コミュニケーションアート専門学校学生  
内 容 TSUBASAの目の前にある川、柳瀬川でバードウォッチングを行いました。  
参加人数 11名

24：第11回TSUBASAセミナー  
日 時 2016年11月19日 13：30-15：40  
担 当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 西原様（コンゴ共和国自然環境保全技術顧問）  
内 容 「種の保存法とTSUBASA」（講演：涌井）  
「野生生物の保全を目指して～ヨウムの事例から～」（講演：西原様）  
絶滅の恐れのあるヨウムについて、講演と共に皆様が疑問に  
思っていることをトークセッション形式でお話ししました。  
参加人数 41名

25：プラケ・ケージ相談会  
日 時 2016年11月20日 13：00-16：00  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）  
講 師 TSUBASAボランティア  
内 容 プラケなどにオリジナル止まり木を取り付ける個別相談会を  
開催しました。  
参加人数 2名

26：クリスマス鳥さんゲーム大会  
日 時 2016年12月4日 13：15-16：15  
担 当 涌井（NPO法人TSUBASA理事）

講師 石綿様 (ALETTA代表)

内容 バードランにて鳥同伴可能なクリスマスにちなんだ  
ゲーム大会を開催しました。

参加人数 18名

27: 同鳥会「集まれ!クリスマスカラーの鳥さん会」

日時 2016年12月11日 13:15-17:00

担当 涌井 (NPO法人TSUBASA理事)

内容 バードランにクリスマス色をもった(赤、緑、黄色など)鳥たちが集まる  
同鳥会。大小さまざまな鳥たちが交る社交性を身につける場として  
開催しました。

参加人数 25名

28: とり村で開催した個人様主催のイベント

- ・4月16日 同鳥会 セキセイ会
- ・5月15日 同鳥会 白色バタン会
- ・7月2日 行動トレーニングクラス
- ・9月4日 同鳥会 ミニマコウ会
- ・10月1日 行動トレーニングクラス
- ・10月2日 同鳥会 マコウミーティング
- ・11月19日 同鳥会 モモイロインコ祭

(2) 鳥類の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

1: 里親探し

- ・里親が決まった数: 計59羽
- ・里親会参加者数: 約300名
- ・鳥の里親会 (MTB: Meet the bird) 開催  
普段、施設で暮らす鳥達の里親会。毎月開催を目標としています。  
日時 1/17. 2/21. 3/26. 4/17. 5/22. 6/26. 7/24. 8/28. 9/25. 10/23.
- ・小型鳥の里親会 (S-MTB )  
通常の物とは異なる、中小型の鳥を専門とした里親会の開催。  
日時 10/15
- ・あいちトリエンナーレの鳥達里親会 (主催者: あいちトリエンナーレ実行委員会 (会長:  
大村秀章)) 等の支援  
愛知の芸術イベント「トリエンナーレ」の鳥達をレスキューし、開催した里親会の支援  
第一回開催 (愛知県豊橋市) 11/27  
第二回開催 (埼玉県新座市) 12/17

2: 鳥の引き取り: 計77羽

内訳: 52羽はレスキューによる

(飼い主不在/事前健康診断ができない/書類が出せない/緊急性が高い)

- ・(埼玉) 3月: 1件1羽 (セキセイインコ) 原因: 警察依頼による保護
- ・(埼玉) 4月: 2件12羽 (セキセイインコ) 原因: 飼い主死去により
- ・(東京) 5月: 1件1羽 (キタボウシインコ) 原因: 飼い主死去により
- ・(東京) 6月: 3件3羽 (セキセイインコ) 原因: 飼い主死去、警察依頼による保護
- ・(東京) 7月: 2件8羽 (セキセイインコ) 原因: 飼い主死去、警察依頼による保護



- ・（埼玉） 8月：1件1羽（セキレイ）原因：警察依頼による保護
- ・（東京） 11月：1件1羽（カメイ）原因：飼い主死去により
- ・（愛知） 12月：1件25羽（ブンチョウ、ジュウシマツ）  
原因：愛知県芸術イベントからの譲り受け

### 3：鳥のお世話に関するボランティア

日 時：毎日 9:00～17:00（時間はボランティア様選択制）  
延べ人数：計 1147 人

### 4：ボランティア体験ツアー

日 時 2016年4月9日、5月8日 12:15～13:00  
担 当 望月（NPO法人TSUBASA理事）  
内 容 これから、ボランティアを検討中の方に、ボランティアの事  
を知って頂くために実施します。  
参加人数 10名

## (3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1: 鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、鳥の種類別のリーフレットを作成販売しました。2016年は獣医師のみが、対象の販売となりました。

## 2：飼鳥のペレット読本

小鳥の病院BIRDHOUSE院長眞田直子先生に執筆していただき、書籍の製作販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、獣医師の集まるイベントなどでの販売も行いました。

## (4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェック。これらを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにフィードバックし、よりよい適切な飼育環境を目指し、調査を実施。

## (5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

日本で唯一の認定NPO法人として活動する飼い鳥の保護施設である当団体には、学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供している。本年は、認定NPO取得の効果もあるのか学校機関からの授業やインタビューなどの依頼も複数寄せられた。

平成 28 年度研修の受け入れを行った学校

- 1 学 校：東京コミュニケーションアート専門学校
- 2 学 校：日本ペット&アニマル専門学校
- 3 学 校：東京動物専門学校
- 4 学 校：東京農業大学
- 5 学 校：国際動物専門学校
- 6 学 校：ヤマザキ学園大学

7 学 校：福岡ECO海洋動物専門学校

平成 28 年度 特別授業並びにインタビューの依頼を受けた学校

1 東京農業大学 (1 回)

内容：授業「マイスターセミナー」にて、職業としてのNPO法人や動物に関わる職種について説明しました。

2 東京農業大学 (2 回)

内容：卒業論文のテーマとして、TSUBASAの活動についてインタビューを受けました。

3 ヤマザキ学園大学 (1 回)

内容：特別講義

動物について専門的に学ぶ学生に、鳥についてとTSUBASAの活動についてお伝えしました。

4 東京コミュニケーションアート専門学校 (2 回)

内容：特別講義

動物について専門的に学ぶ学生に、鳥についてとTSUBASAの活動についてお伝えしました。

(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業

平成 28 年は実績なし

(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務

鳥のための用品（ケージ、餌、おもちゃ等）が該当します。

本年より、営利事業を廃止し鳥たちと愛鳥家の皆様のため

にお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を実施しました。

また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ販売も

実施いたしました。

(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営

→平成 28 年度は実績なし

(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業

鳥を飼う方向けの用品（飼育書等）が該当します。

TSUBASAを広く普及するための雑貨（コーズリボン）、カレンダー、書籍の  
販売（ペレット読本、バーバとえんどうのおまめ）等。

5 各種メディアでの活動内容の報道実績について

(1) コンパニオンバードNo. 25、No. 26

(2) ALL BIRD Vol. 7. 8. 9. 10

(3) 雑誌A E R A

(4) ラジオ FM浦安

(5) TV モーニングショー

(6) TV JCOM

(7) TV news every

(8) TV Nスタ

- (9) 中日新聞
- (10) 東京新聞
- (11) 朝日新聞

## 6 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	316人
賛助会員	:	221人
法人会員	:	0団体
名誉会員	:	19人
寄附者	:	延べ576人
鳥のスポンサー	:	延べ167人
鳥のお世話に関する ボランティア	:	延べ人数：計1147人
プロボラなど	:	2名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウイッシュリスト含む）、古本の提供（きしやぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥達のおもちゃ作り、支援を目的としたイベントの開催、動物愛護イベント等での啓発発動、SNS等によるPRなど、様々な形でご支援を頂きました。

## 7 寄附金の支出

- (1)熊本地震において被災したペットの飼い主及びペットのために懸命に支援活動を行っている非営利団体である「緊急災害時動物支援ネットワーク熊本」への支援として、愛鳥祭の収益の一部を寄附金として支出しました。
  - ・寄附金額：20,000円

以上